

第50回 Pitch to the Minister 懇談会“HIRAI Pitch” 議事概要

1. 開催日時・出席者等

- 日時：令和元年6月13日(木)10:30～11:30
- 場所：中央合同庁舎 8号館 10階 平井国務大臣室
- Pitch テーマ：イノベーション創出 ～ 人、プロセス、場所の在り方
- 招へい者：内田 士郎(うちだ しろう)SAP ジャパン株式会社 代表取締役会長
- 出席者：平井国務大臣、佐藤副大臣、幸田内閣府審議官、三輪政府CIO、奥田参事官(IT)、
信朝CIO補佐官、砂金CIO補佐官、菅野上席調査員(科技)、藤井上席調査員(科技)、
千葉補佐(科技)、寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

2. 内田氏からの説明

- SAPは当初はERP(Enterprise Resources Planning、統合基幹業務システム)のベンダとして創業したが、現在はIoT、データインテリジェンス、AI等を始めとするERP以外の売上が全体の約6割を占めるまでになっている。これは、企業のデジタル化のためにシステムの提供を行っていた従来型の事業から、パートナー企業との協業によりデータ利活用を徹底し、イノベーション創出の支援をする事業に転換していることを意味する。
- このようなSAP自身の変革を通じて、イノベーション創出における課題を3つの「P」として整理した。すなわち、People(人材育成)、Process(デザインシンキング)及び Place(創造性を高める環境整備、出島)が日本企業の変革に向けた重要なポイントであると考えている。

3. 質疑応答・議論

- これからのサービス提供にあたっては、徹底的に顧客志向を貫き、顧客のビジネスが成功しないとサービス提供者のビジネスとしても成功しないという考え方を持たないといけないのではないか、との意見があった。
- 日本の企業においても、新しいサービスの創出においては意思決定が柔軟に行えるよう、別会社として事業を展開したり、デジタルボードルーム等を活用して経営を可視化したり、パートナー企業同士やCFO同士での意見交換ができたりすると、コミュニティの効果を最大化でき有益ではないかとの意見があった。

(了)

(速報のため事後修正の可能性あり)